

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌ブライダル&ホテル観光専門学校

学科名：ウェディングプランナー科

授業科目名	単位数
ブライダルビジネスマナー	2
パーソナルカラー	2
ブライダルジュエリー	1
アテンド実践A	1
コーディネートA	1
合計	7

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	サービス接遇検定 3 級公式テキスト サービス接遇検定実問題集 3 級			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。				
到達目標	サービス接遇検定 3 級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。				
評価基準	小テスト 3 0 % ・ 提出物 3 0 % ・ 検定合格 4 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	サービス接遇検定 3 級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	吉江 妙子			実務経験	○
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは	サービススタッフに必要とされる要件について 身だしなみについて
2	サービススタッフの 資質・専門・一般知識	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	対人技能	対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ
4	敬語	敬語について学ぶ
5	実務技能	実務的な技能を学ぶ

6	慶事・弔事のマナー	社交業務について学ぶ
7	接遇者としての知識	接遇者について学ぶ
8	検定対策	過去問題より検定対策
9	社外文書	社外文書の書き方を学ぶ
10	コミュニケーション能力	人間関係の構築・社内・社外でのコミュニケーション能力の高め方
11	電話対応	電話対応の方法について学ぶ
12	名刺交換・お茶出し	名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ
13	面接のマナー	面接試験のマナーについて学ぶ
14	受付から誘導まで	受付から誘導までの方法を学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック			出版社	クリエスクール

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネイト力を発揮できる人材になる				
評価基準	検定40%・小テスト30%・授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネイト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大越 まさみ			実務経験	○
実務内容	アパレル通信サイトにてカラーコーディネイトやスタイリング業務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて 色の性質①	・パーソナルカラーの重要性を知る ・色の持つ性質や特徴を理解する
2	色の性質② 色の心理的効果	・有彩色と無彩色を理解する ・色の三属性を理解する ・色の心理的効果を理解する
3	色のトーン①	・トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ
4	配色①	・配色の基礎を学び、配色構成を理解する ・色相環・トーンを理解した上で配色を考える ・イメージ配色の重要性を理解する
5	配色② 光の三要素 眼のしくみ	・和装の配色方法を学ぶ ・色がなぜ見えるのかを学ぶ ・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
6	混色 対比・補色対比	・加法混色と減法混色を学ぶ ・対比・補色対比について学ぶ
7	色のトーン②	・トーンの4つのグループの特徴を理解する ・メイク・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする

8	色のトーン③	・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
9	パーソナルカラー判定① 慣用色名	・パーソナルカラー判定の流れを知る ・4パターンファッションについて理解する ・慣用色名について学ぶ
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定②	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定③	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材を目指す				
評価基準	課題 60% テスト 30% 提出期限 10%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	春藤 聡子			実務経験	○
実務内容	ジュエリーショップ勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎①	ジュエリーコーディネーターの役割
3	ブライダルジュエリー基礎②	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	五大輝石①ダイヤモンド	ブライダルジュエリー（ダイヤモンド）の基礎知識を学ぶ
5	五大輝石②ルビー・サファイア	ブライダルジュエリー（ルビー・サファイア）の基礎知識を学ぶ
6	五大輝石③エメラルド・真珠	ブライダルジュエリー（エメラルド・真珠）の基礎知識を学ぶ

7	接客知識①	指輪のサイズの調べ方 ジュエリーメンテナンス方法
8	接客知識②	ジュエリーのコーディネート基礎
9	接客知識③	指輪、ネックレス、イヤリングのコーディネート
10	ブライダルジュエリーブランドについて（国内）	ブライダルジュエリーブランドの基礎知識を学ぶ（国内ブランド）
11	ブライダルジュエリーブランドについて（海外）	ブライダルジュエリーブランドの基礎知識を学ぶ（海外ブランド）
12	ジュエリーボックスのラッピングについて	ジュエリーボックスのラッピングの種類とラッピング方法
13	婚約指輪について	プロポーズのと指輪の繋がり歴史、婚約指輪のデザイン
14	前期試験	筆記試験
15	総まとめ	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アテンド実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 A		
開講			単位数	時間数	
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する				
到達目標	授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 5 0 % 実技 3 0 % 授業態度 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	無				
関連科目	ドレスデザイン A ・ ブライダルプロジェクトⅠ A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	・挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方・新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方）アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）

5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド③ （実践・小テスト）	挙式アテンドの小テスト
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	前期試験	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	同上

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	コーディネート A		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネート A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	日本ウェディングスタイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	コーディネートの必要性を理解する。				
評価基準	テスト 4 0 % ・ 授業態度 3 0 % ・ 提出物 3 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は オンデマンド授業形式と同時双方向型遠隔 授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	遠藤 智緒里		実務経験	○	
実務内容	ウェディングコーディネーター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	日本の結婚式の特徴	各地域の結婚式の慣習を学ぶ
2	空間コーディネートとは	空間コーディネートとデコレーションの違いを学ぶ
3	空間コーディネートのポイント	空間コーディネートにおける重要なポイントを学ぶ
4	集中講義① 日本の結婚式の特徴について	各地域の結婚式の慣習について発表・情報共有を行う
5	集中講義② コーディネートのスペース	コーディネートスペースの特徴と装飾スタイルについて学ぶ
6	集中講義③ コーディネートアイテムについて	コーディネートアイテムの特徴について学ぶ

7	集中講義④ テーブルコーディネートの基礎 少人数ウェディングのレイアウト について	少人数ウェディングの会場レイアウトを作成する
8	ウェディングフラワーの知識	ウェディングフラワーの種類と特徴について学ぶ
9	ウェディングにまつわる言伝え	ウェディングにまつわる言伝えや慣習を学ぶ
10	デコレーションの構成	デコレーションの構成について学ぶ
11	カラーコーディネート	空間におけるカラーコーディネートについて学ぶ
12	集中講義⑤ コンセプトとそのイメージ	結婚式のコンセプトについて考える
13	集中講義⑥ エリア別の人気会場について	地域ごとの人気会場について調査する
14	集中講義⑦ 披露宴会場のコーディネート	披露宴会場のコンセプトメイクをする
15	テスト	前期テスト